

JADCA 事務局から会員企業・関連団体の皆様に JADCA NEWS を配信いたします。

1. 2023 年念頭にあって

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年2月にロシアがウクライナに侵攻して以来、世界の政治経済情勢が予断を許さない状況の中での1年間でありました。更に3年前から猛威を奮っているコロナウイルスも一時は収束の方向に進んでいたかのように思いましたが、変異ウイルスがはびこり第8波が猛然と差し迫っております。この厳しい社会情勢の中、当協会もオンライン会議などを取り入れながらも十分な活動のできない1年でしたが、平成14年(2002年)に建築物衛生法の登録業種として認められて以降、私共は業界の地位の向上と室内環境の改善に貢献して参りました。

しかしながら、他のビルメン関連団体とは違い、建築衛生法に法的な規則はなく、実効性が伴わない状態でした。その打開策として、政治活動もやむを得ないのではないかと全員で協議を重ね、昨年協会設立以来初めてとなる政策委員会を立ち上げ、業界の実質的な発展のために邁進しております。

具体的な方針としては以下の通り、昨年に引き続き会員の理解を得ながら進めていく方針です。

1. 政策委員会の活動の推進

毎年行われている「建築物環境衛生管理全国大会」に於いて参加されている会員の方々のご存じかと思いますが、全国ビルメンテナンス協会・全国建築物飲料水管理協会・全国管洗浄協会・日本ペストコントロール協会等、ビルメン関連団体ではいずれも協会の役員として功労のあるものについては叙勲・大臣表彰されておりますが、我が日本空調システムクリーニング協会は、誰一人として表彰されておられません。

この問題を解決するためと、当協会の地位の向上を世間から認識していただくため、また建築物衛生法を実効性のある法律に改正していただくためにも、政策委員会を中心に積極的に政治活動も行っていくことが、業界の地位向上のために重要であると考えます。

2. 会員企業の仕事の品質を一定にし、顧客様満足度の向上を図る

・空調システム診断士制度、厨房排気設備診断士制度の普及を中心に推進し、空調用ダクト清掃技術評価制度、環境経営システム認証制度の見直しを図る。

3. ビジネスモデル委員会の充実

・これからの JADCA 活動の中心となるビジネスモデル委員会の充実と拡大を図る。

4. 国際交流の再開

・対外交流 新型コロナにより、閉ざされていた海外の同業者グループ、NADCA、IKECA との交流を再開し、新技術の導入と友好を深める。更に中国、ベトナム等アジア諸国と交流を深め、室内空気環境の改善を進め、地球環境の改善を図る。



日本空調システムクリーニング協会会長 小川明彦

2. 活動報告 2022年10月～12月

日時	内容	会場
10月4日(火)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン開催(ZOOM)
10月18日(火)	空調保全工業(株) 総合テクニカルセンター見学会	埼玉県川口市
10月26日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
11月1～2日(火水)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
11月10～11日(水木)	地方理事会金沢 北陸会員企業交流	サンタ(株)会議室
12月7日(水)	総務委員会	アクロス福岡にて開催
12月7日(水)	ビジネスモデル委員会	アクロス福岡にて開催 ハイブリッド開催(ZOOM)

3. 活動予定 2023年1月～3月

日時	内容	会場
1月13日(金)	評価認定委員会	JADCA 事務局会議室
1月19～20日(木金)	第50回建築物環境衛生管理 全国大会 花木理事発表	日本教育会館一ツ橋ホール
1月18日(水)	臨時理事会	ハイブリッド開催(ZOOM)
1月31日(火)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	オンライン開催(ZOOM)
2月1日～2日(水木)	臨時社員総会 福岡開催	西鉄グランドホテル
2月14日(火)	2022年度 JADCA セミナー	ハイブリッド開催(ZOOM)
2月28日(火)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)

4. 研修・講習のご案内

作業従事者向け

ダクト清掃作業従事者研修

第3号事業登録要件の一つに「年一回以上全作業員が研修を受けること」は、社内研修でもよいということになっておりますが、JADCAでは、本研修を受けたものが社内研修の講師となるべきとの観点から、JADCA認定の技術評価制度において、本研修の受講者が毎年いなければ減点対象としています。技術評価認定の会員企業はこの点もご留意下さい。

日程	内容	時間
1月31日(火)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	受付開始 9:00
2月28日(火)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	9:15~17:00

5. 支部活動のご報告



東関東・西関東支部合同ゴルフコンペ親睦会 2022年12月1日 小川カントリークラブ

前回に続き、またまた怪しいお天気の中の開催となりましたが運よくホールアウトまではお天気が持った事、ご参加いただいた皆様の心掛けの良さかと思えます。

季節は晩秋、紅葉の美しい中のラウンドとなりました。

ご参加頂いた皆様有難うございました。

優勝を飾ったのは初参加の有限会社街コーポレーションの春日さんです。

九州支部支部会 9月27日(火) 15:00~アクロス福岡にて開催

東北支部支部会 11月16日(水) BIZcomfort 仙台クリスロードにて開催

両支部においては日頃のJADCAの活動報告及び2月の臨時社員総会の内容や参加時の支部負担金、および来年度の活動計画等が話し合われました。

6. 支部長 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
3年間「コロナとの窮屈な共存生活」に閉じ込められた私達ですが、同時にポストコロナ時代にも活かせる数多くの知見も産み出されました。現在北海道は先行した第8波ピークが減速・収束しつつ、観光飲食業の需要が急激回復途上にあり、見通しを持てることが大切な時期です。
設備保守はコロナ禍でもニーズが減らずコロナ禍をサバイバル出来た会社が主流です。真摯に保守技術に取り組み続ける JADCA 全体でポストコロナの世の中に貢献出来たらと願っています。

北海道支部 支部長 今井昭彦



2023年、明けましておめでとうございます。
長らく開催出来ておりませんでした東北支部会ですが、昨年ようやく11月に開催することが出来ました。ZOOMとリアルのハイブリッド形式で、コロナ禍や遠方でなかなか足を延ばせなかった支部会員の方々にも、ご挨拶出来た事、また情報交換など出来ました事、この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。今年も東北支部の活性化に向けて、互いに発展出来る支部会に出来たらと思っております。

何卒ご協力賜ります様お願い申し上げます。

東北支部 支部長 大庭孝仁



支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
コロナの状況も日々変遷しており、まだまだ予断を許しません。またウクライナ戦争など世界情勢も不透明な状況です。
国内では活況を呈している業界もあるようです。先日も JADCA 地方理事会が3年ぶりに金沢で開催されましたが観光地は多くの人でにぎわっていました。

今年は JADCA も新しい取り組みとして2月に臨時社員総会を福岡で開催することが決定しています。皆様、ぜひご参加ください。Zoom 会議慣れしておりますが、リアルでお会いして色々と情報交換することが重要だなと感じております。

皆様にお会いすることを楽しみにして新年のご挨拶とさせていただきます。

東関東支部 支部長 末光眞二



新年おめでとうございます。昨年もコロナ禍は長引いておりましたが、年末にかけては以前のように「とにかく自粛」という状況ではなく、経済活動は活発になってきております。
JADCA の活動も、リモートと対面を織り交ぜながら進んできました。今年是对面での活動も増やししながら支部活動を続けて参りたいと思います。本年も引き続き宜しく願致します。

西関東支部 支部長 清水晋



2023年の新春を迎え、コロナ禍という3年に及ぶ長い暗闇を、未だ脱け出せずにいる今日この頃です。今年の干支は兎ですから、誰しも「脱兎のごとく」この闇から一刻も早く抜け出したいと思うのではないのでしょうか。このような環境下においても、会員の皆様には変わらぬご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年こそは支部活動を再始動させて、状況が許せばリアルで会合を開催して情報交換を行い、春以降には懇親ゴルフなども再開させて行きたいと思っております。この一年が皆様にとって良い年でありますよう。

北陸東海支部 支部長 山田幸司



新年あけましておめでとうございます。

昨年はサッカーワールドカップの若い選手の活躍に感動をもらい、若い世代のこれからの時代を大きく動かすようなベクトルを感じました。

若い世代の頑張りを業界にも生かしてもらえるように、私たちもより良い環境を整えていかなければならないと考えております。

本年の干支は「卯」です。若い世代とともに、ウサギのように跳躍、飛躍する良い年でありますよう祈念させていただきます。

本年もよろしく願い申し上げます。

近畿中四国支部 支部長 木下浩之



皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、九州支部は主な活動として福岡市消防局への訪問や支部会、懇親会などを行いました。コロナ以来、実に三年ぶりの対面による活動再開となりました。

さて、本年はJADCAの新しい試みとして、九州福岡で2022年度臨時社員総会が開催されます。会場+リモートのハイブリット形式ですが、これは従来の首都圏中心から地方会場で行うことにより、地方会員との交流促進を図るという提案があり実現したものです。総会では、福岡市消防局による飲食店火災の講話や博多ならではの催し物など、様々な企画を予定しています。

ぜひ、2月に九州の地で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

九州支部 支部長 中村一午



火災予防の視点から見るダクトクリーニング

毎年、冬になると火災のニュースを目にすることが多くなる。数年前も1月に入って、新年早々の渋谷のセンター街での飲食店での火災が話題になったことは今でも頭に残っている。

しかし、現在の日本を火災予防の視点から考えてみると、近年大幅に改善されたといっても過言ではないが、一昨年 of 年末の大阪でのクリニックでの放火や昨年初めの新潟県村上市での米菓製造工場での火災で多数の方が亡くなったことは、万一に備えての対策が重要であることを示している。

筆者は大学で安全管理の講義をしているが、学生の話では過去一年以内に直火を扱った経験のある学生は全体の三割程度とのことである。考えてみると、都市部においては家庭での調理はIH器具の普及に加えて外食や調理済み食品の利用比率の増加、暖房もエアコンの普及、さらには喫煙者の減少等により、我々が直接火気を取り扱う機会は大幅に減少した。今では家庭でマッチを見ることも少なくなっている。

言い換えれば、火気に対する一般社会の危険感受性は大幅に低下しているといっても過言ではない。従って、一般的に火気の取り扱いを甘く見る人が増え、石油やガスストーブからの火災発生の可能性の軽視、火気を使用しての調理に対して引火や周辺の小火の可能性の無配慮、万一火災発生時の初期対応や避難は想定外、このほかにも防火防災への配慮がおろそかになってきているのは容易に想像できる。一方では、社会は安全安心を当然のこととして強く求めているが社会の安全が進化すれば、一般市民の危険感受性が低下していくのは当然と言える。

加えて、新型コロナが発生してから3年になるが、今ではどこにでも消毒用エタノールが置かれている。これを見るたびに、このエタノールに引火したらと不安に感じることが多い。

特にエタノールによる炎は無色であり、実際に燃えているかどうかはその熱を感じるまではわからないことを、どれだけの人が知っているだろうか。

火災に関して最近のメディアを賑わすものとして、雑居ビルの火災等で避難路を物置代わりにし、防火防災設備点検不備による逃げ遅れによる被災者の増加、中華料理店・ラーメン屋や焼き肉レストランのダクトからの火災発生と火災の拡大が挙げられる。これらは火災発生場所が繁華街にあることから、大きく報道されることが多い。

レストランや食堂からの火災に起因する例として糸魚川の大火が挙げられる。これを契機に、飲食店のダクトに焼き肉の煤の蓄積や揚げ物や炒め物の調理によって生ずる油脂がたまり、蓄熱した煤による発火がダクト火災の原因になることが、改めて認識されることとなった。東京消防庁から出している「飲食店の厨房設備等にかかる火災予防対策」(ガイドライン)なども一読頂きたい。

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-sidouka/data/chubou_kasai_guideline.pdf

一般市民は便利で快適な生活の享受は当然のことと思いついでいるが、その反面、どこに危険が潜んでいるかに目が行き届かなくなり、ひとたび火災が発生すると複雑化した建物や都市構造の中で避難や消火が困難となる。また、現在の災害発生の想定が困難な社会環境の中では消火設備の適切かつ速やかな使用による初期消火や火災の拡大防止を着実に実施するための火災に対する知識や経験を有する人材も少なくなっている。

ダクト内の油煙や燃焼残渣による火災発生防止、火災発生時の火炎伝播と拡大防止のためのダクトの定期的なクリーニングとダンパー類の確実な作動確認は、社会の安全・安心を確保するための必須項目であることを改めて強調したい。

災害発生時に消火や避難誘導に当たる方の活躍は広く報道され、高い評価を受けている。

しかし、災害発生防止のために日夜努力されている地味な活動を知る人は少ない。

ダクトクリーニングは人に知られない地味な作業であるが、これの重要性が広く認知され、社会の理解が進むことを願っている。

JADCA 環境経営委員長
エコステージ協会全国理事長・東京地区第三者評価委員長
横浜国立大学環境情報研究院非常勤講師
小山富士雄

◆2022 年度臨時社員総会（福岡）開催のご案内

日時：2023 年 2 月 1 日(水) 14：00～

場所：福岡 西鉄グランドホテル

（1 日目）総会・懇親会

2023 年 2 月 1 日(水) 総会 14：00～16：00

情報交換会及び懇親会 16：00～18：00

博多博多芸妓の演目がございます。

場所：西鉄グランドホテル（福岡）

真珠の間・プレジール

福岡市中央区大名 2-6-60



（2 日目）バス観光

2023 年 2 月 2 日(木)

福岡の歴史と博多の街に触れる

集合：8 時 30 分 西鉄グランドホテル 正面玄関

解散：16 時 30 分頃 中州川端駅周辺

水城跡-----坂本八幡宮-----大宰府天満宮-----お石茶屋-----茅乃舎-----博多街歩き
雨天または状況によっては旅程変更になる可能性があります。



事務局 etcetera (エトセトラ)

「女子会」

皆さんの会社コロナ禍の中、忘年会はどうしていますか？

当社ではコロナ前までは全社社員・契約スタッフ・協力会社・お客様等で集まってなかなか盛大に開催していたのですが、このところそういう訳にもいかず各営業所・各グループで開催しています。

営業所ごとに焼肉・しゃぶしゃぶ・屋形船等、趣向を凝らして開催してくれています。

その中で女子社員の皆さんは女子で集まって忘年会を開催しています。去年は皇居を望むホテルで鉄板焼きを楽しんだらしいです。

今年はまた皇居を望む一流ホテルでフレンチのフルコースを楽しんだそうです。

ランチだったのですが 11 時 30 分から 4 時まで滞在したとのこと!!! 「お店にまだ居てもいいのですが会計だけお先にお願いします」 と言われたそうです。



楽しそうな皆さん

ワインで満面の笑みの千葉

営業所 T 野さん

恐ろしい滞在時間で、これが女子会かあ〜と感心した次第です。

なかなか会社でイベントも開催できず、楽しいこともない中で皆さんに喜んでもらえて非常にうれしく感激しました。

来年はもっともっと楽しいイベントを行いたいですね。

ちなみに幹事の K 島さんに「おいくらでしたか？」と聞いたところ「えっと〜言えません!!!」とのことでした。フフフ (^_^)

written 末光 眞二 (所属会社：(株)エアードウォーター)

編集後記

明けましておめでとうございます。

充実した1年を皆様と過ごせるようにと、身の引き締まる思いであります。

通年、東京で開催されておりました JADCA 臨時社員総会が、今回、2月1日に福岡の地で開催されます。九州支部の絶大な協力を賜りスペシャルな企画もご用意させて頂いておりますので、是非、福岡の地にご参集いただければと思っております。

今年も、有益な情報の発信や更なる試みを進めて参りますので、会員企業の皆様におかれましては、協会に対しご理解とご協力を引き続きお願いできたらと思います。

2023年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



〒111-0042 東京都台東区寿一丁目2番7号
TEL : 03-5828-6116 FAX : 03-5246-7380
E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>